

ジェネリック医薬品を利用していますか？

国保

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは…
 新薬（先発医薬品）の特許期間が終了した後
 に開発された、安価で家計にやさしい医薬品で
 す。
 効き目や安全性については、新薬と同等であ
 ることを厚生労働省が認めており、飲みにくい
 薬の形や大きさを変えたり、苦みを抑えたりと
 いった工夫がされている場合があります。

ジェネリック医薬品を利用するには…
 病院や薬局で薬を処方してもらう際に、
 「ジェネリック医薬品を利用できますか？」と
 尋ねてみてください。また、勝山市ではオリ
 ジナルのジェネ
 リックカードを配
 布していますの
 で、ご希望の方は
 下記までお問い合
 わせください。



新薬の開発

開発期間
10～20年

一般的には
数百億円の
投資が必要

新薬の発売

特許期間
20～25年

ジェネリック 医薬品の発売

開発期間が
数年と短く、
価格が低い

市民課（市役所1階） ☎88-8102

特定健診は受診されましたか？

特定健診を受けることは、健康管理や病気の早期発見ができて、医療費の節約にも繋がります。集団健診は11月で終了します。通院中の方も受診しましょう。新たに国保に加入した方や受診券をなくされた方は、健康長寿課へお申し込みください。

健康長寿課（すこやか内） ☎87-0888

最終回 インタビュー



耳鼻咽喉科
いとうクリニック
伊藤 聡久 院長

みんなで守り、育てよう勝山市の医療！
 耳鼻科医の立場から

■耳鼻科の疾患について

耳鼻科の疾患は、春は花粉症、夏は急性中耳炎など季節によって流行があります。
 子どもにも多い蓄膿症は、風邪のばい菌が鼻の奥に感染してかかります。乳児期から集団生活をするため、急性中耳炎など耳鼻科の疾患は低年齢化しています。

■高齢者の状況

勝山の高齢者は、元気でアクティブな人が多いと思います。高齢者は、知らないうちに鼻の奥に、ばい菌が長期にわたって溜まり、慢性副鼻腔炎にかかっている人や、滲出性中耳炎の患者が多いです。
 また、過去の耳の病気などによる潜在的平衡機能障害から、めまいを起す人もいます。体力が落ちてくると、今まで全体で補っていた平衡感覚が補いきれなくなり、めまいが出てきます。最近、突発性難聴になる40～50歳代

■連携について

入院が必要な場合は、患者の希望に応じて福井社会保険病院などに紹介しています。患者の重症度を見極めて対応することはクリニックの役割でもあります。

■耳鼻科疾患を防ぐために

耳鼻科の疾患を予防するために大切なことは、①風邪をひかない②うがい・手洗い・マスクをする③睡眠をよくするなどです。
 外から家に帰ってくると手洗いをしますが、実は家庭内での感染が多いです。家庭内での感染サイクルを止めるために、家の中でもうがい・手洗い・マスクをしてください。うがいは、元気がときほど1日3～4回はしてください。ちよつと喉が痛いなど気がついてからうがいをしても、すでに感染しているのでは、そうなる前に実行してほしいですね。

保険料を納めた方へ

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発送されます

～年末調整・確定申告まで大切に保管を！～
 国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その場合、その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象となります。
 「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が送付されますので、年末調整や確定申告の際に添付してください。

※ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、納付された方の社会保険料控除に加えることができます

- 証明書が送付される時期
 - ・9月30日までに保険料を納付された方 →平成25年11月上旬
 - ・10月1日以降に初めて保険料を納付された方 →平成26年2月上旬

市民課（市役所1階） ☎88-8102 福井年金事務所 ☎0776-23-4516
 控除証明書専用ダイヤル（11月1日から） ☎0570-070-117
 ※050または070で始まる電話からは ☎03-6700-1130 へおかけください

年金

年金受給者の方へ

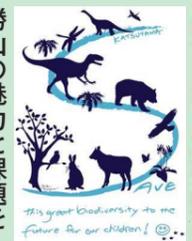
「扶養親族等申告書」の提出をお忘れなく！

老齢または退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税がかかります。下記の金額の老齢年金を受け取られた方には「扶養親族等申告書」が11月上旬にお手元に届きますので、届きましたらお早めに提出してください。

年齢	年金額
65歳未満	108万円以上
65歳以上	158万円以上

＜注＞提出されないと、各種控除が受けられないだけでなく、源泉徴収額が多くなる場合がありますので、扶養親族となる方がいない場合でも忘れずに提出してください。

※「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」・「扶養親族等申告書」は、いずれも日本年金機構から郵送されます



「勝山エコライフ」プログラム

第22回 勝山の魅力と課題を発信する子どもたち

私が勝山市に来て以来、徹底して行ってきたことが、「子どもたちからの発信」です。子どもたちから大人に向けて、勝山の魅力を高めると同時に、課題を改善していく提案をしています。

◆SATOYAMAイニシアティブにおける発表

9月8日の「子ども環境教育フォーラム」では、鹿谷小学校、村岡小学校、荒土小学校が発表を行いました。県下で、1つの自治体から3校も発表したのは勝山市だけです。

鹿谷小学校の児童は、赤とんぼについては、生き物にとつてすみやすく、人にも安全な稲作を模索しました。外来種については、オオキンケイギクやセイタカアワダチソウの駆除を通し、「まずは外来種を持ち込まないことが最重要」「外来種の存在に無関心な大人の存在が問題」と指摘しました。ピオトープについては、現在の構造に問題があることを指摘し、本来の鹿谷らしい自然に近づける提案を行いました。会場からとても大きな反響がありました。

子どもたちからの発信 みなさんは受け止めていますか？

荒土小学校は、希少種であるバイカモという水草について、子どもたちが年間を通して科学的に調査したことを紹介しました。大人が知らない勝山の魅力を、市外に向けて発信してくれています。村岡小学校では、小原エコプロジェクトや、県の自然保護センターにも取り組んできた、ミチノクフクジュソウの保全活動について発表しました。活動開始時に比べ、大きな成果が生まれています。

◆大人はどう応えるべきか

子どもたちの発信に対し、徐々に地域の大人が協力し、一緒に地域をよくしようという活動が広まってきました。これは大変素晴らしいことです。しかし、まだまだ無関心な大人や、耳を傾けようとしていない大人がたくさんいます。子どもたちの思いに、大人が応えることができれば、地域を好きになる子どもたちが増え、勝山の持続可能性をも高めることになると思います。家庭、学校でも、子どもたちが勝山をもっと知る機会を増やしてほしいと思います。勝山のことを知らないまま大人になったところで、勝山の魅力を高めることができますか？勝山に残ろう、戻ろうと思えますか？よく考えてみてください。